内外電報

米國抗議重大

米國務省は九日迄に未だサガレン占領問題に關する日本政府の囘答に接せざるも國務長官は米國政府は之と同時に發表す可しと豫期されつゝあり而して既に該問題の報道に依り日本政府の囘答内容なるものは一般に傳へられつゝあるが日本は何等なる實業を以てサガレン州の一時的占領を主張せるものなりと傳ぜられ何れり然れども米政府は日本政府の囘答如何に拘らず再び斷乎として露國領土を割取する事に反對を表明するに至る可く近々發表さる可き政策問題に關する米國の聲明の如き其一部分は日本の西伯利に於ける行動に對する抗議の意味ありと一般に解せられつゝあり（紐育來電）

米國抗議の内容

日本は何故單獨行動を執れりや

（一）日本政府の聲明せるチタ撤兵には何等異議なし（二）然れども日本政府が今囘新に尼港及ヘスコヌタに駐兵しきる理由如何（三）米國政府は日本政府の該地點に於ける駐兵を以て西伯利共同出兵の宣言の趣旨に違反するものと認む（四）尼港に於ける日本守備隊は初め在留民が慘虐に遭ひたる地點なるを以て米國は日本の該地點占領に異議なきも之を以て薩哈嗹占領の理由ありとは認め難し（五）…英米は薩哈嗹州占領の行動に出でず日本獨り占領の行動に出づるは米國政府の諒解に苦しむ所なり仍て日本政府の聲明承認を保留す…（紐育來電）

對土講和條約調印

聯合國對土耳古講和條約は十日兩者代表者間に調印を了したり（巴里來電）

獨漸次爪牙を現す

強硬なる佛の通牒

支那新内閣

北京政局一段落

沿線日軍撤兵要求

支那外交部は小幡駐支公使に對し鐵道沿線駐屯日本軍撤兵要求の公文書を致したり（北京來電）

直隸派暗中飛躍

又復排日惹起乎

外國使臣團支那に迎合

安徽派吾に倚る

加州排日

請願成立す

勞働賃銀値上

軍隊群集に發砲

羅馬法王斡旋

聯盟代表任命

英獨抗夫接近

北歐時局電報

露政府同意拒絶

英艦隊封鎖着手

獨中立を聲明す

過軍虐殺暴行す

波軍愈々窮迫

佛救援軍ジレジャ着

過激派阻止熟議

五十萬人飢餓に瀕す

張氏近く辭職

匪徒頭領投降

内閣居据

原首相言明

陸相辭意固し

在外通譯官

驛屯土處分令

判事特任規則

露勞働者救濟

森鐵測量進捗

官財整理決定

漢口航路休航

石井大使出發

拓殖局長官來鮮

張武備擴張

大將親補發表

施政方針刷新

尼港占領と共に復活せる日本漁業權

客月朝鮮貿易概況

武市金塊移送

軟毛獸移殖

鮮米業績不振

三線連絡運賃

東拓移住民救濟

水原水害措置

仁川學校組合檢査

仁川印紙税檢査

劇減を示す

劇増せ

電話錄

朝鮮商業銀行員 犯罪暴露の經路

秘密裡に取調終了して北條のみ檢事局送り

岡崎は十八銀行に女名前で多額の預金をして居た

十八銀行

檢事局に

列車の扉を釘附

脫走を防ぐ爲めに

飢餓に瀕した露國の慘状は獨り執政官が美衣飽食

營養不良で生兒の死亡九割

産兒せず

續々脫走

婦人雜誌の惡傾向

好んで離婚や避姙問題を喋ぶ

國家の基礎にも影響する問題

代表者

作男から

セネバに開催の勞働會議へ

全鮮間の復舊

廿一日から

端緒を得

サガレン寶庫の鍵

兒島將軍が握る

利權が目前に垂下りながら糧食宿舍の保障がないので

山師連も手が出せない

狼まがひ

競爭激甚

株主總會

慧眼なる

敷分を經

山林から

手も足も

露國方針

一扶り

苦し紛れに

茶亭攫

某銀行員 犯罪の裏面

數萬圓の橫領金は如何に費消されたか

拐帶逃亡の當日まで振られ通した色消しの北條

(六)

線香丈

丸い顏

帳面を

藝者は

低落一方の日用品

內地では

朝鮮では頓と下らぬ

三割から五割の安値

低級野卑

極端な筆

尼港に

銀行支店再設

近く實現せん

コレラ豫防には注射が一番安全

昨年は百四十五萬人注射をした

ト部衞生課長談

交通遮斷

蔓延して

必勝を期

對抗戰を

潜伏期中

東洋製藥の美擧

不良飲料水を嚴重に取締る

鴨綠江の抱合心中

女は藝者風

大繁昌の閒島領事館監獄

虎軍愈猛威を振ふ

全鮮の患者六千に近し

府內の累計百六十名

巨額の防疫費

釜山の虎疫

檢疫員任命

京管の宣傳

初日注射人員

鮮內虎疫猖獗

銀行の窓口にて大金を掻浚ふ

四人組の强盜捕はる

外交員急募集

京城日日新聞社

運動界

明大對京城野球戰

明大選手歡迎會

三高庭球團出發

▲女給仕募集入用▼

京城日日新聞社

小栗判官照手姫

旭亭桜山口演

「四十二」

物凄で照手が覩く

「イヤ六郎さん、貴方がたお二人は早く此の國を逃げて下さい、私は最う到底も助かる氣遣ひない、只御詫び致し……



讀者の聲

投書歡迎

▲釜山府衛生係の方々に御願ひいたします。コレラが猖獗に流行してゐるに……

▲京城の○○寺上に……

人間タンク

赤垣源藏

喜樂館

塙直之巡遊記

ナムハーワン

戀慕流し

演藝案內

大正館

江戶龍

蝶屋染元

朝鮮郵船

元山出帆

釜山出帆

木浦出帆

仁川出帆

朝鮮郵船會社

移轉

琴、三味線

米川樂器店

現物問屋

白井商會

白井友之助

蠅滅

コレラ豫防に

永樂醫院

ビクトリヤ

徳島足袋株式會社

總督府御用達

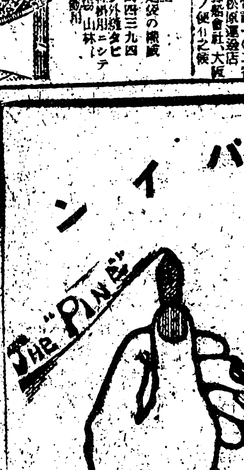
西洋洗濯所

萬年筆御修理

精巧なる器械と熟練せる職工の具備せる弊店へ

眞繼商店

パイン



和光堂

京都染元

末廣屋

新刊 蒙古見物

蒙古通信社長 眞繼義太郎著

三六版 總クロース製美本箱入 口繪寫眞三十面入 本文ポイント組三百十二頁 定價壹圓七拾錢 送料六錢

人生としての蒙古——佛教國としての蒙古——藝術園としての蒙古——原始國としての蒙古——戀を中心としての蒙古

三千年前の太古時代、原始生活に分け入つたやうな風物と、情調の好修練である蒙古旅行は人生行路の一部分として、蒙古に對する偽らざる著者の感激と批判とを赤裸に告白したる藝術的作である。

蒙古の旅行より

鄭家屯より洮南まで

洮南より葛根廟まで

葛根廟より圖什業圖王府より ハン廟まで

林西よりジョゲン廟まで

小巴林より林西まで

ジョゲン廟より愛根廟まで

愛根廟より開魯まで

開魯よりモリン廟まで

モリン廟より鄭家屯まで

取次店 京城太平通二丁目九五 振替京城五三三六番

釜山日報京城代理部 電話三一五三番

賜天覽

賜藍綬褒章

專賣特許 眞崎式製麵機械

眞崎工場出張所

元賣發 大庭式製繩機 山下式製綿機 高井式操機

內科 小兒科

本田病院

京城肛門病痔疾療院

優等賞

清酒 キブトコノミト

富安本店

富安京城支店

社長內山守太郎……大陸事業界の羅針盤

大陸之實業

第參號 八月號 出たり見よ!!鮮滿蒙西伯利北支那を縱斷したる大陸唯一の實業機關雜誌出でたり

大陸開拓と日本の使命

朝鮮經營に關する經濟的施設

矛盾せる帝國の大陸政策

朝鮮第一の產米

滿洲油房業

英米の大陸活躍

ウ僞政廳に勿欺

財界變動と東拓貸金

大連魚市場問題

大連實業と銀行家

大連訪問印象記

西伯利金鑛地藏

如何にして恐怖來に對應すべきか

現代名士朝鮮觀

大連諸會社決算評

皮肉大陸千字文

支那過激思想宣傳

世界に稀なる四平街の商設備

尼港退帯に就て

蒙古牧畜と蒙古畜產

大連土地會社

海拉爾視察飛行

露西滿蒙の婦人

戀の忘れ遺身

大連財界に於ける得意の人と失意の人

我帝國の對蒙古政策

西伯利經濟事情

宗教上より見たる大陸政策

暗黑の獨逸を視察して

發行所 大陸之實業社

小野田セメント會社製造

セメント 石灰

特約販賣

東亞商工株式會社

西比利亞一班

西比利亞は過激派の跋扈地としてのみならず今や我帝國の重要問題地となり、又世界の注目を惹ける重要地となれり、我日本人として は西比利亞の研究は刻下の急務なり、本社は此機會に於て本社の社長釋尾旭邦氏監督の下に編纂せられたる本書を廣く江湖憂國の士に頒たんとす、幸に一本を左右にし、西比利亞問題を研究する參考の資に供せられたし

……〔一部定價三圓五十錢、送料(市外)二十五錢〕……

發行所 京城南山町 朝鮮及滿洲社

年中無休刊
京城日日新聞

社説

虎疫の猖獗

[illegible]

當局者依然反省せず

[illegible]

殖民地概説(九)

第三章 殖民地の統治機關

第一節 各殖民地に於ける統治機關

第三 樺太

[illegible]

尼港惨虐の跡(下)

[illegible]

大橋新憲兵隊長

一日一人(三十) ヒマラヤ山人

[illegible]

惡疫猖獗

[illegible]

最近に至り森林中に潜伏

[illegible]

木俾が建設

[illegible]

遺骸を埋葬

[illegible]

修補を進め

[illegible]

帝國領事館

[illegible]

創作

逆流(十二)

森 溦波

[illegible]